

市単独事業

令和5年度 市道山田下広瀬線上水道管布設工事(3期)

設計書

見積設計書

工事番号 宍水上工第 050102 号

路線名

工事箇所 宍粟市山崎町下広瀬 地内

工種

実施



宍 粟 市

工 事 費				工 事 概 要	
	実 施	変 更	増 減 額		
設 計 額 (内消費税額) 基 準 適 用 (R5.6.1)	円 (円)	円 (円)	円 (円)	配水管布設 HPPE φ 100 L= 214.5 m HPPE φ 75 L= 12.8 m	
請 負 額 (内消費税額)	円 (円)	円 (円)	円 (円)		
執行方法	請 負	施工日数 または 施工期限	令和6年3月25日限り		
(起工又は変更理由)					

総括情報表

頁0-0001/0071

単価適用年月日	0-05.06.01(0)		
工種区分 施工地域区分 工事価格丸め	今 回 01 開削工事及び小口推進工事 23 一般交通影響あり(2) 01 万円丸め	前 回	

工 事 費 内 訳 書

頁0-0002/0071

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
本工事費						
材料費						
	材料費					
		1	式			代価 第0001号内訳表
	材料費（給水）					
		1	式			代価 第0002号内訳表
労務費						
	労務費					
		1	式			代価 第0003号内訳表
	労務費（給水）					
		1	式			代価 第0004号内訳表
土工費						
	管路土工費					
		1	式			代価 第0005号内訳表

工 事 費 内 訳 書

頁0-0003/0071

費目・工種・種別・細目	数	量	単 位	単 価	金 額	備 考
安全管理費						
交通誘導警備員 B	10		人日			施工 第0-0058号内訳表
直接工事費計						
共通仮設費計						
技術管理費			式			
通水試験工 既設管連絡	0.18		日			施工 第0-0059号内訳表
共通仮設費率 分			式			
純工事費計						
現場管理費			式			

工 事 費 内 訳 書

頁0-0004/0071

	費目・工種・種別・細目	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事原価計						
一般管理費等			式			
工事価格計						
消費税相当額						
総 計			式			

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
HPPE (EF)片受直管 φ 100 建設物価と積算資料の2誌平均単価	41	本			K 管材費
HPPE (EF)両挿直管 φ 100 建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	本			K 管材費
HPPE (EF)片受曲管 45° φ 100 建設物価と積算資料の2誌平均単価	3	本			K 管材費
HPPE (EF)両受曲管 45° φ 100 建設物価と積算資料の2誌平均単価	1	本			K 管材費
HPPE (EF)両受チヌ φ 100×100 建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	本			K 管材費
HPPE (EF)両受チヌ φ 100×75 建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	本			K 管材費
HPPE (EF)ソケット φ 100 建設物価と積算資料の2誌平均単価	9	本			K 管材費
ソフソール仕切弁 φ 100 HPPE用 PE挿し口付 建設物価1誌の単価	4	基			K 管材費
地下式消火栓 φ 75 単口 7.5k FCD内外面粉体 建設物価1誌の単価	1	基			K 管材費

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボール形補修弁 φ75 H=0.1 レバー式 7.5k FCD内外面粉体 建設物価1誌の単価	1	基			K 管材費
メカチズ F型台付 φ100×75 HPPE用 7.5k 見積	1	個			K 管材費
フランジ継手材 φ75 7.5k SUS304 RF形 B,N付 Web建設物価1誌の単価	2	組			K 管材費
HPPE (EF) 片受直管 φ75 建設物価と積算資料の2誌平均単価	3	本			K 管材費
HPPE (EF) 両受曲管 90° φ75 建設物価と積算資料の2誌平均単価	1	本			K 管材費
HPPE (EF) 片受曲管 45° φ75 建設物価と積算資料の2誌平均単価	3	本			K 管材費
HPPE (EF) 両受曲管 45° φ75 建設物価と積算資料の2誌平均単価	1	本			K 管材費
ソケット仕切弁 φ75 HPPE用 両受メニカル形 見積	1	基			K 管材費
メカPC短管1号 φ75 HPPE用 7.5k 見積	1	個			K 管材費

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
仕切弁室 H=0.7 φ50~150 Co製 カイン 宍粟市仕様	5	組			2 桁等購入費
消火栓室 H=0.7 Co製 カイン 宍粟市仕様	1	組			2 桁等購入費
配管明示テープ					
見積	227.3	m			
埋設表示シート ダブル 150 アルタン					
見積	227.3	m			
マキャップ φ100 HPPE用					
見積	4	個			K 管材費
マキャップ φ75 HPPE用					
見積	1	個			K 管材費
単 位 当 り	1	式			

材料費 (給水)

代 価 表

代価 第0002号内訳表

頁0-0008/0071

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボール式サドル分水栓 φ100×50 HPPE用					
Web建設物価1誌の単価	2	基			K 管材費
伸縮可とう式継手 φ50 HIVP, 分止水栓用					
見積	2	個			K 管材費
HIVP (RR) 直管 φ50					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	3	本			K 管材費
HIVP (RR) ベント 90° φ50					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	個			K 管材費
HIVP (RR) ベント 45° φ50					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	4	個			K 管材費
HIVP (TS) ソケット φ50					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	個			K 管材費
VSジョイント(ロング) φ50					
見積	2	個			K 管材費
離脱防止金具 φ50 HIVP (RR) 用					
見積	9	個			K 管材費
ボール式サドル分水栓 φ100×40 HPPE用					
Web建設物価1誌の単価	1	基			K 管材費

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
伸縮可とう式継手 φ40 HIVP, 分止水栓用					
見積	1	個			K 管材費
HIVP (TS) 直管 φ40					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	1	本			K 管材費
HIVP (TS) ソケット φ40					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	個			K 管材費
HIVP (TS) エルボ φ40					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	個			K 管材費
ボール式ボール分水栓 φ100×30 HPPE用					
Web建設物価1誌の単価	1	基			K 管材費
伸縮可とう式継手 φ30 HIVP, 分止水栓用					
見積	1	個			K 管材費
HIVP (TS) 直管 φ30					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	1	本			K 管材費
HIVP (TS) ソケット φ30					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	個			K 管材費
HIVP (TS) エルボ φ30					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	個			K 管材費

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボール式ボール分水栓 φ75×25 HPPE用					
Web建設物価1誌の単価	1	基			K 管材費
伸縮可とう式継手 φ25 HIVP, 分止水栓用					
見積	1	個			K 管材費
HIVP (TS) 直管 φ25					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	1	本			K 管材費
HIVP (TS) ヲット φ25					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	個			K 管材費
HIVP (TS) エルボ φ25					
建設物価と積算資料の2誌平均単価	2	個			K 管材費
単 位 当 り	1	式			

代 価 表

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレン管(融着接合) 据付 呼び径 100mm	214.5	m			施工 第0-0001号内訳表
ポリエチレン管(融着接合)継手工 呼び径 100mm, 1口継手	46	箇所			施工 第0-0002号内訳表
ポリエチレン管(融着接合)継手工 呼び径 100mm, 2口継手	13	箇所			施工 第0-0003号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径100mm	11	口			施工 第0-0004号内訳表
ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 100mm	6	口			施工 第0-0005号内訳表
ポリエチレン管(メカニカル継手)取外し工 φ 100	4	口			施工 第0-0006号内訳表
ポリエチレン管(融着接合) 据付 呼び径 75mm	12.8	m			施工 第0-0007号内訳表
ポリエチレン管(融着接合)継手工 呼び径 75mm, 1口継手	10	箇所			施工 第0-0008号内訳表
ポリエチレン管(新設管)切断工 呼び径75mm	6	口			施工 第0-0009号内訳表

労務費

代 価 表

代価 第0003号内訳表

頁0-0012/0071

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ホリチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 75mm	4	口			施工 第0-0010号内訳表
鋳鉄製仕切弁(機械力)設置 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下	5	基			施工 第0-0011号内訳表
仕切弁室設置工 H=0.7	5	箇所			施工 第0-0013号内訳表
設置 消火栓(地下式 単口)設置工 機械施工 フランジ` 接合1口含む	1	箇所			施工 第0-0018号内訳表
消火栓室設置工 H=0.7	1	箇所			施工 第0-0019号内訳表
設置 フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm) J W W A 7.5K	1	口			施工 第0-0025号内訳表
管明示テープ工 天端明示のみ	227.3	m			施工 第0-0026号内訳表
管明示シート工	227.3	m			施工 第0-0027号内訳表
単 位 当 り	1	式			

労務費 (給水)

代 価 表

代価 第0004号内訳表

頁0-0013/0071

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径 50mm	6.0	m			施工 第0-0028号内訳表
硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工 φ 50mm	2	口			施工 第0-0029号内訳表
サドル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径100mm) 配水管呼び径 50mm	2	箇所			施工 第0-0030号内訳表
硬質塩化ビニル管(新設管)切断工 φ 50mm	5	口			施工 第0-0031号内訳表
硬質塩化ビニル管 RR継手工(呼び径 50mm) 離脱防止金具を使用する	13	口			施工 第0-0032号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 50mm)	4	口			施工 第0-0033号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径 40mm	1.0	m			施工 第0-0034号内訳表
硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工 φ 40mm	1	口			施工 第0-0035号内訳表
サドル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径100mm) 配水管呼び径 40mm	1	箇所			施工 第0-0036号内訳表

労務費 (給水)

代 価 表

代価 第0004号内訳表

頁0-0014/0071

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
硬質塩化ビニル管(新設管)切断工 φ40mm	3	口			施工 第0-0037号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 40mm)	8	口			施工 第0-0038号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径 30mm	1.0	m			施工 第0-0039号内訳表
硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工 φ30mm	1	口			施工 第0-0040号内訳表
ホトル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径100mm) 配水管呼び径 30mm	1	箇所			施工 第0-0041号内訳表
硬質塩化ビニル管(新設管)切断工 φ30mm	3	口			施工 第0-0042号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 30mm)	8	口			施工 第0-0043号内訳表
硬質塩化ビニル管 据付 呼び径 25mm	1.0	m			施工 第0-0044号内訳表
硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工 φ25mm	1	口			施工 第0-0045号内訳表

労務費 (給水)

代 価 表

代価 第0004号内訳表

頁0-0015/0071

1 式 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポトリ分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径 75mm) 配水管呼び径 25mm	1	箇所			施工 第0-0046号内訳表
硬質塩化ビニル管(新設管)切断工 φ 25mm	3	口			施工 第0-0047号内訳表
硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 25mm)	8	口			施工 第0-0048号内訳表
単 位 当 り	1	式			

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
掘削積込工					
	130	m3			施工 第0-0049号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->流用土)					
	80	m3			施工 第0-0051号内訳表
埋戻工 (埋戻し材->スクリーニングス)					
	40	m3			施工 第0-0053号内訳表
残土処分工 L=2.6km					
	40	m3			施工 第0-0054号内訳表
単 位 当 り					
	1	式			

施工単価表

施工 第0-0001号内訳表

頁0-0017/0071

ポリエチレン管(融着接合) 据付

[規格1]呼び径 100mm

[規格2]

[摘要]

10

m

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
合 計	10	m			
単 位 当 り	1	m			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =7	据付 呼び径 100mm		

施工単価表

施工 第0-0002号内訳表

頁0-0018/0071

ポリエチレン管(融着接合)継手工

[規格1]呼び径 100mm, 1口継手

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単位当り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0-0004号内訳表

頁0-0020/0071

ポリエチレン管(新設管)切断工

[規格1]呼び径100mm

[規格2]

[摘要]

1

口

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =8	新設管 100mm		

施工単価表

施工 第0-0005号内訳表

頁0-0021/0071

ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 100mm

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[摘要] 単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単位当り	1	口			
A 呼び径		=3	呼び径 100mm		

施工単価表

施工 第0-0006号内訳表

頁0-0022/0071

ポリエチレン管(メカニカル継手)取外し工

[規格1] φ100

[規格2]

[摘要]

1

口 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工	0.02	人			1
普通作業員	0.02	人			1
諸雑費	1	%			#01
単位当り	1	口			

施工単価表

施工 第0-0007号内訳表

頁0-0023/0071

ポリエチレン管(融着接合) 据付

[規格1]呼び径 75mm

[規格2]

[摘要]

10

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =6	据付 呼び径 75mm		

施工単価表

施工 第0-0008号内訳表

頁0-0024/0071

ポリエチレン管(融着接合)継手工

[規格1]呼び径 75mm, 1口継手

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単位当り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0-0009号内訳表

頁0-0025/0071

ポリエチレン管(新設管)切断工

[規格1]呼び径75mm

[規格2]

[摘要]

1

口

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =7	新設管 75mm		

施工単価表

施工 第0-0010号内訳表

頁0-0026/0071

ポリエチレン管(メカニカル継手)継手工 呼び径 75mm

[規格1]

[規格2]

[摘要]

1

口 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単位当り	1	口			
A 呼び径		=2	呼び径 75mm		

施工単価表

施工 第0-0011号内訳表

頁0-0027/0071

鋳鉄製仕切弁(機械力)設置

[規格1] 縦型仕切弁 呼び径 100mm以下

[規格2]

[摘要]

1

基 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			
普通作業員		人			
トラック(クレーン装置付)運転		時間			
単 位 当 り	1	基			
A 作業区分		=1	設置		
B 仕切弁種別		=1	縦型仕切弁		
C 呼び径		=1	呼び径 100mm以下		
D 現場状況		=1	良好 (係数 1.0)		

施工単価表

施工 第0-0013号内訳表

頁0-0028/0071

仕切弁室設置工

[規格1]H=0.7

[規格2]

[摘要]設置

10

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄蓋設置工(円形1号 内径250)	10	個			施工 第0-0014号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形1号 内径250 上部壁 高さ 150mm	10	個			施工 第0-0015号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形1号 内径250 中部壁 高さ 200mm	10	個			施工 第0-0016号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形1号 内径250 底版	10	個			施工 第0-0017号内訳表
合 計	10	箇所			
単 位 当 り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0-0015号内訳表

頁0-0030/0071

レジンコンクリート製ボックス設置 (円形)

[規格 1] 円形1号 内径250 上部壁 高さ 150mm [規格 2]

[摘要]

1 個 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=1	設置		
B 規格		=1	1号 内径250		
C 調整箇所		=2	上部壁		
D 高さ		=3	高さ 150mm		

施工単価表

施工 第0-0016号内訳表

頁0-0031/0071

レジンコンクリート製ボックス設置 (円形)

[規格1]円形1号 内径250 中部壁 高さ 200mm

[規格2]

[摘要]

1 個 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=1	設置		
B 規格		=1	1号 内径250		
C 調整箇所		=3	中部壁		
D 高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工 第0-0017号内訳表

頁0-0032/0071

レジンコンクリート製ボックス設置（円形）

[規格1]円形1号 内径250 底版

[規格2]

[摘要]

1 個 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=1	設置		
B 規格		=1	1号 内径250		
C 調整箇所		=5	底版		

施工単価表

施工 第0-0018号内訳表

頁0-0033/0071

消火栓(地下式 単口)設置工

[規格1]機械施工 フランジ'接合1口含む

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
トラック(クレーン装置付)運転		時間			
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	箇所			
A 作業区分		=1	設置		
B 施工方法		=1	機械施工		
C 消火栓種類		=1	地下式		
D 消火栓口種類		=1	単口		

施工単価表

施工 第0-0019号内訳表

頁0-0034/0071

消火栓室設置工

[規格1]H=0.7

[規格2]

[摘要]設置

10

箇所 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
鉄蓋設置工(円形3号 内径500)	10	個			施工 第0-0020号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形3号 内径500 調整リング 高さ 50mm	10	個			施工 第0-0021号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形3号 内径500 中部壁 高さ 200mm	10	個			施工 第0-0022号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形3号 内径500 下部壁 高さ 200mm	10	個			施工 第0-0023号内訳表
レジンコンクリート製ボックス設置 (円形) 円形3号 内径500 底版	10	個			施工 第0-0024号内訳表
合 計	10	箇所			
単 位 当 り	1	箇所			

施工単価表

施工 第0-0021号内訳表

頁0-0036/0071

レジンコンクリート製ボックス設置 (円形)

[規格1]円形3号 内径500 調整リング 高さ 50mm [規格2]

[摘要]

1 個 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=1	設置		
B 規格		=3	3号 内径500		
C 調整箇所		=1	調整リング		
D 高さ		=1	高さ 50mm		

施工単価表

施工 第0-0022号内訳表

頁0-0037/0071

レジンコンクリート製ボックス設置（円形）

[規格1]円形3号 内径500 中部壁 高さ 200mm [規格2]

[摘要]

1 個 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=1	設置		
B 規格		=3	3号 内径500		
C 調整箇所		=3	中部壁		
D 高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工 第0-0023号内訳表

頁0-0038/0071

レジンコンクリート製ボックス設置 (円形)

[規格1]円形3号 内径500 下部壁 高さ 200mm

[規格2]

[摘要]

1 個 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
単 位 当 り	1	個			
A 作業区分		=1	設置		
B 規格		=3	3号 内径500		
C 調整箇所		=4	下部壁		
D 高さ		=4	高さ 200mm		

施工単価表

施工 第0-0024号内訳表

頁0-0039/0071

レジンコンクリート製ボックス設置 (円形)

[規格1]円形3号 内径500 底版 [規格2] [摘要] 1 個 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
単位当り	1	個			
A 作業区分		=1	設置		
B 規格		=3	3号 内径500		
C 調整箇所		=5	底版		

施工単価表

施工 第0-0025号内訳表

頁0-0040/0071

フランジ継手 接合(呼び径 75(80)mm)

[規格1] JWWA 7.5K

[規格2]

[摘要]

1 口 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単位当り	1	口			
A 作業区分		=1	接合		
B 規格		=1	JWWA 7.5K		
C 呼び径		=2	呼び径 75(80)mm		

施工単価表

施工 第0-0027号内訳表

頁0-0042/0071

管明示シート工

[規格1]	[規格2]	[摘要]	100	m	当り
名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
普通作業員		人			
合計	100	m			
単位当り	1	m			

施工単価表

施工 第0-0028号内訳表

頁0-0043/0071

硬質塩化ビニル管 据付

[規格1]呼び径 50mm

[規格2]

[摘要]

10 m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =7	据付 呼び径 50mm		

施工単価表

施工 第0-0029号内訳表

頁0-0044/0071

硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工

[規格1] φ50mm

[規格2]

[摘要]

1

口

当り

施工単価表

施工 第0-0030号内訳表

頁0-0045/0071

サドル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径100mm)

[規格1]配水管呼び径 50mm

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り
考

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単位当り	1	箇所			
A サドル分水栓種類 B 配水管 呼び径		=10 =6	ポリエチレン管 呼び径100mm 呼び径 50mm		

施工単価表

施工 第0-0031号内訳表

頁0-0046/0071

硬質塩化ビニル管(新設管)切断工

[規格1] φ50mm

[規格2]

[摘要]

1

口

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分		=1	新設管		
B 呼び径		=7	50mm		

施工単価表

施工 第0-0032号内訳表

頁0-0047/0071

硬質塩化ビニル管 RR継手工(呼び径 50mm)

[規格1] 離脱防止金具を使用する

[規格2]

[摘要]

1

口

当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			12
普通作業員		人			12
諸雑費		%			#01 2
離脱防止金具の使用による割増		%			#02
単 位 当 り	1	口			
A 呼び径 B 離脱防止金具の使用有無		=1 =1	呼び径 50mm 離脱防止金具を使用する		

施工単価表

施工 第0-0033号内訳表

頁0-0048/0071

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 50mm)

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[摘要] 単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
合 計	2	口			
単 位 当 り	1	口			
A 呼び径		=7	呼び径 50mm		

施工単価表

施工 第0-0034号内訳表

頁0-0049/0071

硬質塩化ビニル管 据付

[規格1]呼び径 40mm

[規格2]

[摘要]

10

m

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =6	据付 呼び径 40mm		

施工単価表

施工 第0-0035号内訳表

頁0-0050/0071

硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工

[規格1] φ40mm

[規格2]

[摘要]

1 口 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分 B 呼び径		=2 =6	既設管 40mm		

施工単価表

施工 第0-0036号内訳表

頁0-0051/0071

サドル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径100mm)

[規格1]配水管呼び径 40mm

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り
考

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	箇所			
A サドル分水栓種類 B 配水管 呼び径		=10 =5	ポリエチレン管 呼び径100mm 呼び径 40mm		

施工単価表

施工 第0-0037号内訳表

頁0-0052/0071

硬質塩化ビニル管(新設管)切断工

[規格1] φ40mm

[規格2]

[摘要]

1 口 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分		=1	新設管		
B 呼び径		=6	40mm		

施工単価表

施工 第0-0038号内訳表

頁0-0053/0071

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 40mm)

[規格1]

[規格2]

[摘要]

2

口 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
合計	2	口			
単位当り	1	口			
A 呼び径		=6	呼び径 40mm		

施工単価表

施工 第0-0039号内訳表

頁0-0054/0071

硬質塩化ビニル管 据付

[規格1]呼び径 30mm

[規格2]

[摘要]

10 m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =5	据付 呼び径 30mm		

施工単価表

施工 第0-0040号内訳表

頁0-0055/0071

硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工

[規格1] φ30mm

[規格2]

[摘要]

1

口 当り

名 称 ・ 規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分 B 呼び径		=2 =5	既設管 30mm		

施工単価表

施工 第0-0041号内訳表

頁0-0056/0071

サドル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径100mm)

[規格1] 配水管呼び径 30mm

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り
考

施工単価表

施工 第0-0043号内訳表

頁0-0058/0071

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 30mm)

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[摘要] 単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
合計	2	口			
単位当り	1	口			
A 呼び径		=5	呼び径 30mm		

施工単価表

施工 第0-0044号内訳表

頁0-0059/0071

硬質塩化ビニル管 据付

[規格1]呼び径 25mm

[規格2]

[摘要]

10 m 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			
普通作業員		人			
合計	10	m			
単位当り	1	m			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =4	据付 呼び径 25mm		

施工単価表

施工 第0-0045号内訳表

頁0-0060/0071

硬質塩化ビニル管(既設管)撤去切断工

[規格1] φ25mm

[規格2]

[摘要]

1 口 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単位当り	1	口			
A 作業区分 B 呼び径		=2 =4	既設管 25mm		

施工単価表

施工 第0-0046号内訳表

頁0-0061/0071

サドル分水栓建込(ポリエチレン管 呼び径 75mm)

[規格1]配水管呼び径 25mm

[規格2]

[摘要]

1

箇所 当り
考

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	箇所			
A サドル分水栓種類		=9	ポリエチレン管 呼び径 75mm		
B 配水管 呼び径		=3	呼び径 25mm		

施工単価表

施工 第0-0047号内訳表

頁0-0062/0071

硬質塩化ビニル管(新設管)切断工

[規格1] φ25mm

[規格2]

[摘要]

1

口

当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単 位 当 り	1	口			
A 作業区分 B 呼び径		=1 =4	新設管 25mm		

施工単価表

施工 第0-0048号内訳表

頁0-0063/0071

硬質塩化ビニル管 TS継手工(呼び径 25mm)

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[摘要] 単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
合 計	2	口			
単 位 当 り	1	口			
A 呼び径		=4	呼び径 25mm		

施工単価表

施工 第0-0049号内訳表

頁0-0064/0071

掘削積込工

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[摘要] 単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
バックホ運転		時間			
合 計	100	m3			
単 位 当 り	1	m3			
A バックホ規格		=3		バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)	

施工単価表

施工 第0-0051号内訳表

頁0-0065/0071

埋戻工（埋戻し材->流用土）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[摘要] 単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
流用土		m3			
バックホ運転		時間			
クワ運転（賃料）		日			
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=2 =3	流用土 バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0053号内訳表

頁0-0066/0071

埋戻工（埋戻し材→スクリーニングス）

[規格1] 名称・規格	[規格2] 数量	[摘要] 単位	単価	金額	備考
土木一般世話役		人			
普通作業員		人			
スクリーニングス (0~2.5mm)		m3			
バックホ運転		時間			
クワ運転 (賃料)		日			
合計	100	m3			
単位当り	1	m3			
A 埋戻し材の種類 B バックホ規格		=6 =3	スクリーニングス バックホ 山積0.28m3(平積0.2m3)		

施工単価表

施工 第0-0059号内訳表

頁0-0071/0071

通水試験工

[規格1]既設管連絡

[規格2]

[摘要]

1 日 当り

名称・規格	数量	単位	単価	金額	備考
配管工		人			1
普通作業員		人			1
諸雑費		%			#01
単位当り	1	日			

数量総括表

山田下広瀬線上水道管布設工事(3期)

工 種	種 別	細 別	算 式	数量	単位	摘要
【本工事費】						
材料費						
材料費				1	式	
材料費(給水)				1	式	
労務費						
労務費				1	式	
労務費(給水)				1	式	
土工費						
管路土工費				1	式	
安全管理費						
交通誘導員	交通誘導員B	昼間勤務-実働8時間		10	人日	
【共通仮設費】						
技術管理費						
通水試験工	既設管連絡		$227.3 / ((500 + 2000) / 2)$	0.18	日	

材料費												
数 量 表												
名 称	形状・寸法	単位長	単 位	計算式						合 計	摘 要	
HPPE (EF) 片受直管	φ100×5000L	5.000	本	直管 170.0m		計 170.0m		34本				
						計			合計	41	41	
				切管用片受直管(切管調書より)						7本		
HPPE (EF) 両挿直管	φ100×5000L	5.000	本							2	2	
HPPE (EF) 片受曲管 45°	φ100	0.490	本							3	3	
HPPE (EF) 両受曲管 45°	φ100	0.380	本							1	1	
HPPE (EF) 両受チース	φ100×100	0.130	本							2	2	
HPPE (EF) 両受チース	φ100×75	0.130	本							2	2	配管延長 214.5m
HPPE (EF) ソケット	φ100		個							9	9	
ソフトシル仕切弁	HPPE用 PE挿し口付き φ100		基							4	4	
地下式消火栓	単口 FCD内外面粉体 φ75 7.5k		基							1	1	
ボール形補修弁	バール式 FCD内外面粉体 φ75 H=0.1 7.5k		基							1	1	
チースF型台付	HPPE用 φ100×75 7.5k		個							1	1	
フランジ継手材	SUS304 B, N, RF φ75 7.5k		組							2	2	
HPPE (EF) 片受直管	φ75×5000L	5.000	本			計			合計	3	3	
				切管用片受直管(切管調書より)						3本		
HPPE (EF) 両受曲管 90°	φ75	0.500	本							1	1	
HPPE (EF) 片受曲管 45°	φ75	0.470	本							3	3	
HPPE (EF) 両受曲管 45°	φ75	0.370	本							1	1	配管延長 12.8m
ソフトシル仕切弁	HPPE用 両受カニカル形 φ75		基							1	1	

材料費（給水）

数量表

名称	形状・寸法	単位長	単位	計算式	合計	摘要
ボール式ナール分水栓	HPPE用 φ100×50		基		2	2
伸縮可とう式継手	HIVP, 分止水栓用 φ50		個		2	2
HIVP (RR) 直管	φ50×5000L		本		3	3
HIVP (RR) ベント [°] 90°	φ50	0.535	本		2	2
HIVP (RR) ベント [°] 45°	φ50	0.357	本		4	4
HIVP (TS) ソケット	φ50		個		2	2
VSジョイント(ロング)	φ50		個		2	2
離脱防止金具	φ50		個		9	9
ボール式ナール分水栓	HPPE用 φ100×40		基		1	1
伸縮可とう式継手	HIVP, 分止水栓用 φ40		個		1	1
HIVP (TS) 直管	φ40×4000L		本		1	1
HIVP (TS) ソケット	φ40		個		2	2
HIVP (TS) エルボ [°]	φ40		個		2	2
ボール式ナール分水栓	HPPE用 φ100×30		基		1	1
伸縮可とう式継手	HIVP, 分止水栓用 φ30		個		1	1
HIVP (TS) 直管	φ30×4000L		本		1	1
HIVP (TS) ソケット	φ30		個		2	2
HIVP (TS) エルボ [°]	φ30		個		2	2

材料費（給水）

数量表

名称	形状・寸法	単位長	単位	計算式						合計	摘要	
ボール式ボール分水栓	HPPE用 φ75×25		基							1	1	
伸縮可とう式継手	HIVP, 分止水栓用 φ25		個							1	1	
HIVP(TS) 直管	φ25×4000L		本							1	1	
HIVP(TS) ソケット	φ25		個							2	2	
HIVP(TS) エルボ	φ25		個							2	2	

切管調書
【φ100】

管種		HPPE	残管	切断数	備考
1	番号延長	① 4.0 ▼ ②' 1.0 —	0.0	1	
2	番号延長	② 1.2 ▼ ⑥' 3.5 ▼ —	0.3	2	
3	番号延長	③ 2.0 ▼ ⑦' 3.0 —	0.0	1	
4	番号延長	④ 2.7 ▼ ①' 2.0 ▼ ④' 0.3	0.0	2	
5	番号延長	⑤ 2.0 ▼ ⑧' 3.0 —	0.0	1	
6	番号延長	⑥ 2.5 ▼ ③' 1.4 ▼ —	1.1	2	
7	番号延長	⑦ 2.5 ▼ ⑤' 1.0 ▼ —	1.5	2	
	番号延長	— ▼ — —			
7 本		L= 32.1	2.9	11	

【φ75】

管種			残管	切断数	備考
1	番号延長	① 2.0 ▼ ①' 2.4 ▼ —	0.6	2	
2	番号延長	② 2.7 ▼ ②' 0.3 ▼ —	2.0	2	
3	番号延長	③ 2.0 ▼ ③' 1.1 ▼ —	1.9	2	
	番号延長				
	番号延長				
	番号延長				
	番号延長				
3 本		L= 10.5	4.5	6	

労務費												
数量表												
名称	形状・寸法	単位長	単位	計算式						合計	摘要	
ポリエチレン管据付工 (EF)	φ100		m							214.5	214.5	
ポリエチレン管継手工 (EF)	1口 φ100		口							46	46	
ポリエチレン管継手工 (EF)	2口 φ100		口							13	13	
ポリエチレン管切断工	新設管 φ100		口							11	11	
メカニカル継手工	HPPE φ100		口							6	6	
メカニカル継手取外し工	HPPE φ100		口							4	4	
ポリエチレン管据付工 (EF)	φ75		m							12.8	12.8	
ポリエチレン管継手工 (EF)	1口 φ75		口							10	10	
ポリエチレン管切断工	新設管 φ75		口							6	6	
メカニカル継手工	HPPE φ75		口							4	4	
仕切弁設置工	設置 φ100以下		箇所							5	5	
仕切弁室設置工	設置 H=0.7		箇所							5	5	
消火栓設置工	地下式単口 φ75		箇所							1	1	F継手1口含む
消火栓室設置工	設置 H=0.7		箇所							1	1	
フランジ継手工	設置 φ75		口							1	1	
管明示テープ工	天端のみ		m							227.3	227.3	
管明示シート工			m							227.3	227.3	

労務費（給水）

数量表

名称	形状・寸法	単位長	単位	計算式	合計	摘要
硬質塩化ビニル管据付工	φ 50		m		6.0	6.0
硬質塩化ビニル管撤去切断工	既設管 φ 50		口		2	2
ホトル分水建込工	HPPE φ 100×50		箇所		2	2
硬質塩化ビニル管切断工	新設管 φ 50		口		5	5
硬質塩化ビニル管継手工	φ 50 (RR)		口		13	13
硬質塩化ビニル管継手工	φ 50 (TS)		口		4	4
硬質塩化ビニル管据付工	φ 40		m		1.0	1.0
硬質塩化ビニル管撤去切断工	既設管 φ 40		口		1	1
ホトル分水建込工	HPPE φ 100×40		箇所		1	1
硬質塩化ビニル管切断工	新設管 φ 40		口		3	3
硬質塩化ビニル管継手工	φ 40 (TS)		口		8	8
硬質塩化ビニル管据付工	φ 30		m		1.0	1.0
硬質塩化ビニル管撤去切断工	既設管 φ 30		口		1	1
ホトル分水建込工	HPPE φ 100×30		箇所		1	1
硬質塩化ビニル管切断工	新設管 φ 30		口		3	3
硬質塩化ビニル管継手工	φ 30 (TS)		口		8	8
硬質塩化ビニル管据付工	φ 25		m		1.0	1.0
硬質塩化ビニル管撤去切断工	既設管 φ 25		口		1	1

土工数量計算表

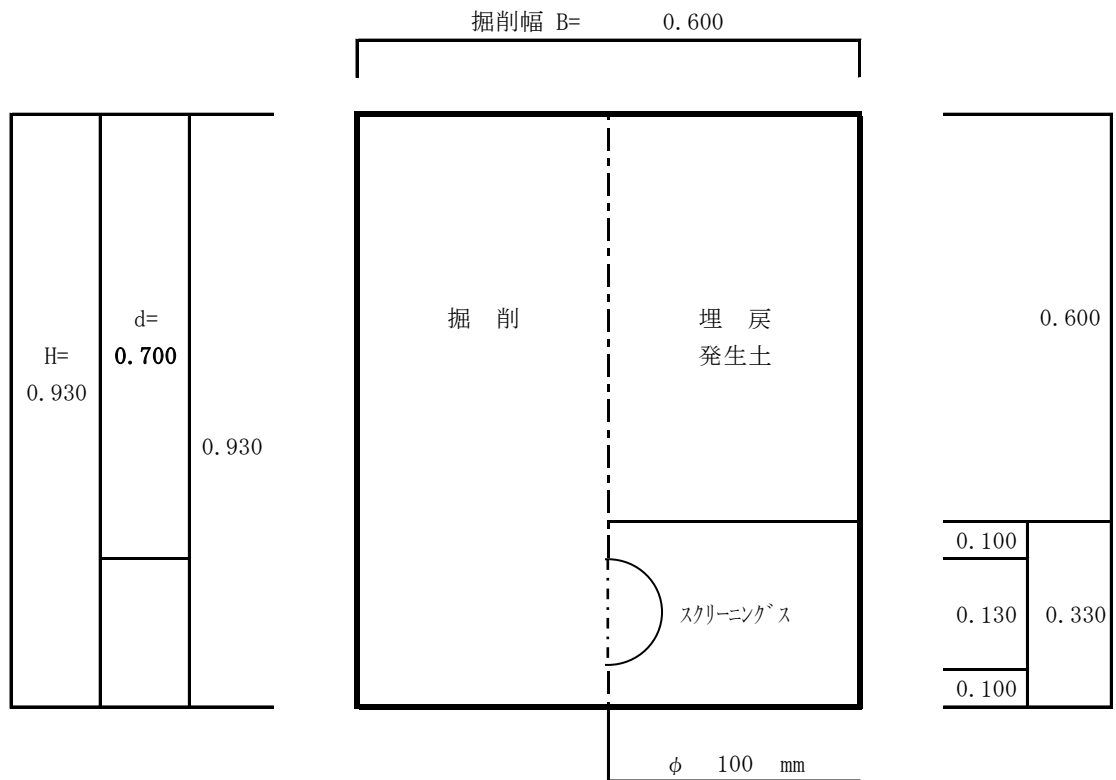
			土工	給水工	ボックスカルバート 下越し部											計	設計 数量	備考	
延長			217.3m	9.0m	10m														
舗装版切断工	As t=15cm以下	m																	
舗装版取壊工	As t=10cm以下	m2																	
殻処分工	L= km	m3																	
掘削積込工	土砂	m3	0.558	121.25	0.510	4.59											125.84	130	
埋戻工	流用土	m3	0.360	78.23	0.360	3.24											81.47	80	
	再生切込砕石	m3																	
	スクリーンクゑス	m3	0.185	40.20	0.148	1.33											41.53	40	
残土処分工	L=2.6km	m3	0.158	34.33	0.110	0.99											35.32	40	
路盤工	t=12cm	m2																	
舗装仮復旧工	再生密粒度As t=3cm	m2																	
		m2																	
		m2																	

土工単位数量計算書

土工

市道断面

布設管路 φ 100 mm 外径 φ 130 mm



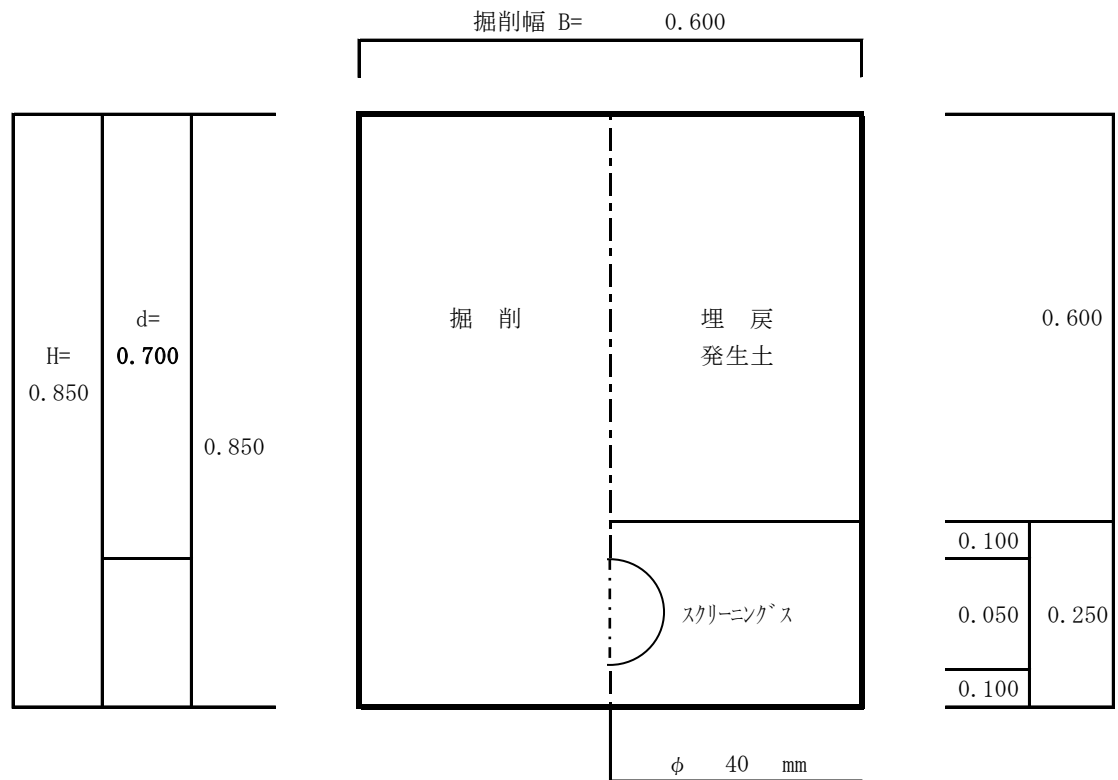
工種	形状寸法	計 算 式	単位	m当り数量
舗装版切断工	- t=15cm以下	×	m	-
舗装版取壊工	- t=10cm以下	×	m ²	-
舗装殻処分工	As殻	×	m ³	-
掘削積込工	機械	0.600 × 0.930	m ³	0.558
埋戻工	スクリーニング	0.600 × 0.330 - π/4 × 0.130 ²	m ³	0.185
埋戻工	発生土	0.600 × 0.600	m ³	0.360
残土処分工	土砂	0.558 - 0.360 ÷ 0.9	m ³	0.158
上層路盤工	-		m ²	-
舗装仮復旧工	-		m ²	-

土工単位数量計算書

給水工

市道断面

布設管路 φ 40 mm 外径 φ 50 mm



工種	形状寸法	計算式	単位	m当り数量
舗装版切断工	- t=15cm以下	×	m	-
舗装版取壊工	- t=10cm以下	×	m ²	-
舗装殻処分工	As殻	×	m ³	-
掘削積込工	機械	0.600 × 0.850	m ³	0.510
埋戻工	スクリーニングス	0.600 × 0.250 - π/4 × 0.050 ²	m ³	0.148
埋戻工	発生土	0.600 × 0.600	m ³	0.360
残土処分工	土砂	0.510 - 0.360 ÷ 0.9	m ³	0.110
上層路盤工	-		m ²	-
舗装仮復旧工	-		m ²	-

特記仕様書

工事名 市道山田下広瀬線上水道管布設工事（3期）

工事場所 宍粟市山崎町下広瀬 地内

工期 令和6年3月25日限り

第1条 適用

本工事の施工にあたっては設計図書によるほか、以下の図書及び本特記仕様書によるものとする。

- 土木工事共通仕様書[平成29年12月]（兵庫県土木部）（一部改訂）
- 土木請負工事必携[平成29年12月]（兵庫県土木部）（一部改訂）
- 土木工事施工管理基準[平成29年12月]（兵庫県土木部）（一部改訂）
- 小型構造物標準図集[平成25年10月]（兵庫県土木部）（第3回改訂）

第2条 一般事項

1. 受注者は施工に先立ち、事前に設計図書の照査を行うものとし、現地との整合性を確認し、疑義が生じた場合は、確認できる資料を書面により提出し、監督員と協議の上処理するものとする。
2. 受注者は施工に先立ち、監督員と立会いの上、BM、工事の起終点、官民境界等を確認しなければならない。また、発注者より貸与する測量成果簿により再測量を行うものとし、その成果を監督員に報告するものとする。

第3条 隣接工事との調整

1. （隣接工事名） 市道山田下広瀬線道路改良工事及び市道山田下広瀬線下水道管布設工事（3期）
2. 本工事受注後、直ちに上記工事受注者と工程調整及び現場調整のため、工程会議を行う。その後、施工計画・実施工程表を作成し監督員の承諾を得ること。

第4条 地元への対応

1. 受注者は本工事を施工するにあたり、事前に自治会長等の関係者に挨拶（報告）すること。
2. （工事事務所外への対応）
工事施工箇所、資材置き場、資材運搬路等に隣接する土地所有者とトラブルのないよう現地立会し、十分協議すること。また、工事事務所以外の区域へ立ち入りする場合及び草木等の伐採を必要とする場合には、必ず所有者の承諾を得るものとする。（民地を掘削しなければならない時は、官民境界を監督員及び土地所有者と立会確認し、控杭等を設置し保有する。）

第5条 環境対策

1. （排出ガス対策型建設機械）
本工事において、排出ガス対策型建設機械指定要領に基づき指定された排出ガス対策型建設機械を使用するものとし、施工計画書に証明書を添付し提出すること。
2. （公害対策）
 - ① 工事施工により発生する公害は、環境基準を厳守し万全の対策・処置を講じること。
 - ② 本工事箇所は、低騒音・低振動型機械を使用することとし、作業の実施にかかる事前の届出と規制基準の遵守を義務づけられているので、作業開始7日前までに届けるとともに、その写しを1部提出すること。
 - ③ 騒音及び振動、濁水について、工事施工前及び工事施工中において、監督員と協議の上必要に応じて観測を行うものとし、工事により悪化した場合、速やかに対応を行うこととする。なお、前述の観測地点、回数等については監督員と協議のうえ決定するものとし、これに要する費用については、受注者の負担とする。
 - ④ 土砂掘削等による汚水、塵埃、騒音、振動及び路面の汚損には細心の注意を図ること。万一地元及び第三者から苦情があった場合は、受注者で責任を持って処理すること。

第6条 工事中の安全確保

1. (工法変更等への対応)
構造物等の施工に於いて湧水、その他の障害のため通常の工法では初期の目的を達することが出来ない場合、または関係機関と協議の結果、新たな作業及び構造の変更が生じた場合は、対策工法を監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
2. (掘削部の安全施工)
土石崩落等危険と判断される時及び床掘法面において、関係機関との打合せ等により、危険防止のための安全対策等が必要となった場合は、監督員と協議するものとし設計変更の対象とする。
3. (安全・訓練等の実施)
安全・訓練等の実施については、土木工事共通仕様書第1編を参照のこと。また、実施状況をビデオまたは工事報告書(工事旬報)に記録し報告するほか、写真等も整理のうえ提出すること。(尚、これらに要する経費については、現場管理費率に含む。)

第7条 交通安全管理

1. (道路使用願等)
工事の施工に当たっては、一般通行等に及ぼす影響を最小限になるように施工計画を立案し、監督員と協議すると共に、「道路使用許可願」を所轄警察に提出し、その許可を得るとともに許可証の写しを監督員に提出すること。また、関係機関との協議を発注者と共に行い、必要な安全対策を講じること。
2. (安全施設類)
標識類、防護柵等の安全施設類については、現場条件に応じて設置する他、道路管理者及び所轄警察署と打合わせを行い実施するものとする。なお、打合わせの結果又は条件変更等に伴い、道路工事現場における標示施設等の設置基準(土木請負工事必携 11)以上の保安施設類が必要な場合、監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。
3. (交通誘導員の配置)
交通誘導員については、下表のとおり計上しているが、道路管理者及び所轄警察署の打合せの結果又は、条件変更等に伴い員数に増減が生じた場合は、設計図書に関して監督員と協議するものとし、設計変更の対象とする。

配置場所	交通誘導員	編成	昼夜別	交替要員の有無
作業地点	10名	交通誘導員B	昼間	無

なお、交通誘導員A、Bの定義は次のとおり。

交通誘導員A：警備業者の警備員(警備業法第2条第4項に規定する警備員をいう。)で、交通誘導警備業務(警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務をいう。)に従事する交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員

交通誘導員B：警備業者の警備員で、交通誘導員A以外の交通の誘導に従事するもの

4. (過積載による違法運行の防止について)
過積載による違法運行防止対策として次の事項を遵守すること。
 - ① 積載荷重制限を超えて土砂を積み込まない。
 - ② 過積載を行っている業者から、資材を購入しない。
 - ③ 不正改造運搬車(さし枠装着、違法物品積載装置)を一切使用してはならない。また、工事現場への出入もさせてはならない。

第8条 建設廃材等の処分

1. 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に定める廃棄物は、同法に準拠した適切な方法により処分すること。
2. 産業廃棄物の処分にあたっては、同法の許可を持った産業廃棄物処理業者において処分すること。
3. 建設リサイクル法等に基づく手続き
受注者は、契約締結までに建設リサイクル法第12条に基づき、必要事項を所定の書面に記載し提出すること。また、工事が完了したときは、建設リサイクル法第18条に基づき、以下の事項を書面に記載し、提出するものとする。
 - ・再資源化等が完了した年月日

- ・再資源化等をした施設の名称及び所在地
- ・再資源化等に要した費用

併せて、再生資源利用計画書（実施書）及び再生資源利用促進計画書（実施書）を提出するものとする。

また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画及び再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。掲示様式は県HPに掲載の様式もしくは、建設副産物情報交換システムで出力される様式を使用すること。

4. マニフェストシステムについて

この工事で排出される建設廃棄物を現場外に搬出して処理（再資源化施設、積み替え保管場所経由で最終処分）する場合、産業廃棄物管理票（マニフェスト票）を使用し、受注者の責において5年間保存すること。

産業廃棄物管理票（マニフェスト票）D・E票及び計量伝票を検査時に提示し、様式25の産業廃棄物管理票交付状況総括表は提出することとする。（設計計上量を最大値として、上記検収数量を算出数量として、変更の対象とする。）

5. 受注者が直接（法律に基づく許可地でない土地）処分地に投棄した処分量は、投棄量算出量としない。
6. 建設副産物の運搬を廃棄物処理業者に委託する場合には、必ず書面による委託契約を締結する。また、運搬及び処分を業とする許可書を、委託契約の写し及び処理業者の所在地と運搬ルートとともに施工計画書に添付すること。
7. 受注者は建設資材廃棄物の産業廃棄物処分業者への引渡しが完了したときは、「産業廃棄物等の不適正な処理の防止に関する条例」（平成15年3月17日兵庫県条例第23号）第16条の3に基づき、建設資材廃棄物引渡完了報告を監督員に提出すること。（工作物等解体工事は請負代金500万円以上、建築物解体工事は延床面積80㎡以上）

第9条 建設発生土及び採取土

1. 建設発生土（土砂）の残土処分は、下記のとおりとする。なお、工事間等の流用箇所があれば処分地及び運搬距離等は、設計変更の対象とする。
2. 建設発生土を県登録施設へ搬出する場合

（建設発生土の搬出先）

建設発生土の搬出先は、積算条件として、以下を設定している。

品 目	施設の名称	運搬距離	所 在 地	受入等諸条件	その他
建設発生土	(株)清名	2.6 km	宍粟市山崎町 中比地 547	兵庫県土木部の「建設副産物の処理ならびに受入価格」に掲載される当該施設の受入条件を遵守すること	監督員の指示による

上表については、積算参考条件を明示しているものであり受入施設を指定するものではない。受注者は、県登録施設から搬出先施設を選定し、共通仕様書に基づき、施工計画書に記載して監督員に提出しなければならない。なお、受注者が選定した施設が、積算条件と異なる場合においても設計変更は行わない。

ただし、上表の施設が工事発注後に県登録施設から登録抹消されるなど、受入困難となった場合は、設計変更を行う。

3. 処分地における押土等処理方法は監督員の指示を得ること。
検収方法としては、受注者は伝票または出来形展開図（処分前、処分中、処分後の写真を含む）を提出すること。
4. 土質調査の結果等により流用が不可能と考えられる場合は、監督員と協議の上、適正に処分を行うものとする。

第10条 支障物件内容及び地下埋設物件の事故防止

1. 本工事区間の支障物件は下表のとおりである。受注者は各管理者と連絡を十分に行い、施工すること。

支 障 物 件	管 理 者	管理者との協議	移 設 時 期
上下水道管	上下水道課	事前協議	

2. 工事の施工にあたって予想される地下埋設物件は、管理者と現地立会のうえ、当該物件の位置・深さを確認し、

保安対策について十分打合せを行ない、事故の発生を防止すること。保安対策の打合せを行ったときは、「立会打合せ調書」に立会者の押印を求め、当該調書の写を監督員に提出するものとする。

3. 受注者の責により地下埋設物件に損害を与えた場合は、すみやかに監督員に報告するとともに関係機関に連絡し応急措置をとり、受注者の負担によりこれを補修しなければならない。
4. 埋設物件等の管理者不明のものがある場合は、監督員に報告し、その処置については、占用企業者全体の立会を求め、管理者を明確にしなければならない。その結果死管の処置を受注者が企業者より依頼を受けた場合には、文書によってその責任を明確にしておかなければならない。

第11条 法定外の労災保険の付保

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

第12条 施工管理

1. 受注者は、本工事に関する施工管理担当者を定め、その氏名を書面で発注者に通知しなければならない。施工管理担当者を変更したときも同様とする。
2. 主任技術者（監理技術者）及び専門技術者は、前項の施工管理担当者を兼ねる事が出来る。
3. 施工管理担当者は、土木工事施工管理基準及び規格値、同運用方針により、施工管理を実施しなければならない。また、工事の進捗に伴い、必要な事項が生じた場合には追加することがある。
4. 施工管理のうち、品質および出来形管理については、管理基準および規格値、同運用方針に基づいて試験や測量を実施するとともに、そのデータを用いて管理図等（管理図またはデータの集計表）を作成し、提出すること。（データのみの提出はしないこと）

第13条 写真管理

1. 写真管理については、土木工事施工管理基準の写真管理基準により撮影、整理すること。
黒板・スタッフ・ポール等をあて工種、測点ごとに明確に撮影し、分り易く整理して提出すること。
2. 写真はカラーL版（89×127mm）とする。ただし、着工前及び完成写真等は、キャビネ版（127×178mm）またはパノラマ写真（つなぎ写真可）とし、それぞれ対比して撮影すること。
3. 完成写真には測点及び起終点方向を明示すること。

第14条 品質規格

1. 本工事に使用する材料の品質規格は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。
2. （コンクリート管理）
 - ① コンクリート中の塩化物量の総量規制、アルカリ骨材反応抑制対策については、指示する重要構造物について、コンクリート中の塩化物総量規制及びアルカリ骨材反応抑制対策実施要領に基づき、コンクリート打設前に試験を実施し規格値を満足することを確認のうえ打設すること。（土木工事請負必携 21 参照）
 - ② コンクリートの強度管理については、標準養生の他、現場空中養生も行うこととする。
3. （再生切込砕石）
 - ① 本工事に使用する砕石は、再生切込砕石（0～30、0～40 mm）とする。
なお、生産業者の都合により再生切込砕石の供給に支障がある場合は監督員と協議し、その指示に従うこと。
 - ② 下層路盤材・土木構造物の基礎砕石及び裏込砕石に使用する材料は、下記の品質規格を満足するものとし、受注者は施工にあたって事前に使用する再生切込砕石生産者及び最近の試験結果を提出し、監督員の承諾を受けなければならない。
また、アスファルトコンクリート塊を原料とする再生切込砕石を下層路盤材として使用する場合は、別途資材と混合して使用するものとし、アスファルトコンクリート塊の混合割合は重量比60%以下とする。ただし、別途資材として鉄鋼スラグ路盤材、アッシュストーンを30%以上混合した場合に限り、アスファルトコンクリート塊の混合割合は上記規定を適用しない。
なお、生産者の都合により再生切込砕石の供給に支障がある場合は、監督員と協議のうえ、新材切込砕石に変更することとし、設計変更の対象とする。
再生切込砕石の品質基準は以下の通りとする。

修正CBR (%)	PI (塑性指数)	すりへり減量	粒 度
-----------	-----------	--------	-----

30以上	6以下	50%以下	再生切込碎石の粒度範囲に入ること
------	-----	-------	------------------

4. (セメントコンクリート製品)

- ① 本工事に使用するセメントコンクリート製品は、共通仕様書及び「小型構造物標準図集」によるものとする。なお、「小型構造物標準図集」に示す構造規格を満足する側溝等の使用に当たっては、監督員の承諾を得て使用することができるものとし、それに係る請負代金の変更は行わないものとする。
- ② 品質確認は、「セメントコンクリート二次製品の取組要領 [平成27年1月]」(兵庫県土木部)に基づき実施する。

第15条 一般施工

1. (配管従事者)

- ① 受注者は、配管作業に従事する技能者について、豊富な実務経験と知識を有し、熟練したものを配置すること。
- ② 受注者は、配管作業に従事する技能者について、配管工届を提出すること。
- ③ 受注者は、配管作業に従事する技能者から配管責任者を定め、継手チェックシートなど管の接合に関する管理を行わせること。
- ④ 配水用ポリエチレン管の配管作業に従事する技能者は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会又はメーカーが主催する講習会を受講した者とし、受講証写しを配管工届と併せて提出すること。

2. (準備工)

伐開、除根及び段切工等の準備工については、共通仮設費の中に含まれるので、土木工事共通仕様書に則って実施すること。また、除根材については建設廃棄物の対象となるため、監督員と協議の上、適正に処分するものとする。

3. (管路掘削工)

掘削底面に岩石、C o塊等がでてきたときは、管下端より10cm以上取り除いて仕上げなければならない。

4. (管路埋戻工)

- ① 床砂(10cm)は、管の布設までに敷きならすこと。
- ② 埋戻しは、指定する材料を使用し、ごみなど異物のほか、機械燃料や油脂類等の有害物を含んではならない。
- ③ 埋戻しは、管その他の構造物に損傷を与えたり、管の移動を生じたりしないように注意して行うこと。特に給水分岐部のろくろ継手等が可とうした状態にならないように埋め戻すこと。

5. (継手工)

耐震継手(EF・K型)及びフランジ継手のほか、監督員が指示する形式の継手の施工にあたっては、全箇所を継手チェックシートにより管理すること。

6. (給水工)

- ① 給水管を布設替え・移設する場合は、宍粟市給水装置工事施工指針に基づき行い、その施工は市内指定給水装置工事業者によること。
- ② 給水管を布設替え・移設する場合は、戸別に給水台帳附図を作成し、材料及び配管状況等を記載すること。
- ③ 止水栓室を設置する場合は、蓋の蝶番を管路方向に据付け、その設置状況から管路の方向が分かるように施工すること。

7. (弁栓類)

- ① 弁栓類を設置する場合は、事前に材料等の寸法を確認し、弁室鉄蓋との離隔が10cm以上確保できるよう調整すること。上記離隔を確保できないときは、監督員に報告し協議すること。
- ② 弁栓類及びその弁室を設置したときは、弁栓台帳に積高・離隔等を記載し、出来高書類として整理する

こと。

8. (水圧試験)

水圧試験については、次のとおりとする。ただし、配管状況及び地形・管種によっては監督員が別途指示することがある。

- 1) 試験圧力は、0.75MPaとする。
- 2) 負荷時間は、60分間とする。

第16条 詳細図等の作成

取り合い、現地再測量による数量等の変更、構造物の変更および追加による図面は、監督員と協議の上、受注者が全て作成すること。(設計変更で使用できる図面と数量を提出すること。)

第17条 工事標示板等

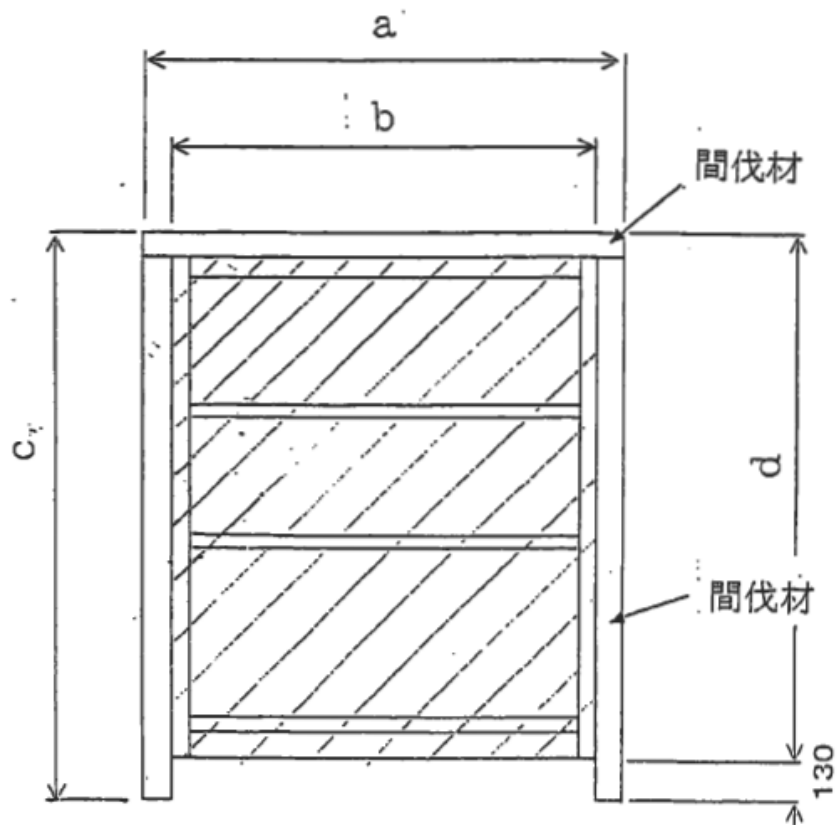
1. 受注者は、工事看板に宍粟産間伐材を使用すること。また、宍粟市のマスコットキャラクター「しーたん」を工事看板に表示し、工事現場に設置すること。(看板①)
2. その他の標示板〔お願い看板、まわり道、誘導標示板等〕にあっても積極的に宍粟産間伐材を使用すること。

第18条 その他施工関係

1. 土質の状態により、工法の変更もあり得るので、掘削時に監督員と現地確認を行い協議すること。
2. 本工事設計書の種別欄の記号は、別冊小型構造物図集に掲載の形式を表示している。
名称、単位、数量、構造物を省略かつ代表断面により発注しているため、受注者は施工にあたり位置・形状・寸法等に誤りの無いようにしなければならない。
3. 受注者は、縦断面図等のない場合でも、縦断勾配の配慮を要する構造物については、特にその目的及び機能を果たす施工をしなければならない。
4. 受注者は、軽微な取り合わせ等、現場の納めについては、図示されていないものであっても施工するものとする。
5. 監督員と協議・打合せした内容については、書類にて監督員に提出するものとする。
6. 本工事の施工にあたり河川への影響がある場合は、事前に関係者と調整を図ること。
7. 広範囲に住民等に周知する工事及び交通量が多い工事においては、看板②を見やすい場所に設置するとともに看板③を起終点に設置を行うこと。
8. 当該工事によりマンホール高さ調整等の必要が生じた場合は、起工測量に基づき調整箇所数等をすみやかに監督員へ報告したうえで受注者の責任において高さ調整(撤去・設置・資材調達)等を行うこととする。
なお費用については別途占有者が負担する。
9. 本特記仕様書に疑義が生じた場合は、速やかに監督員と協議すること。

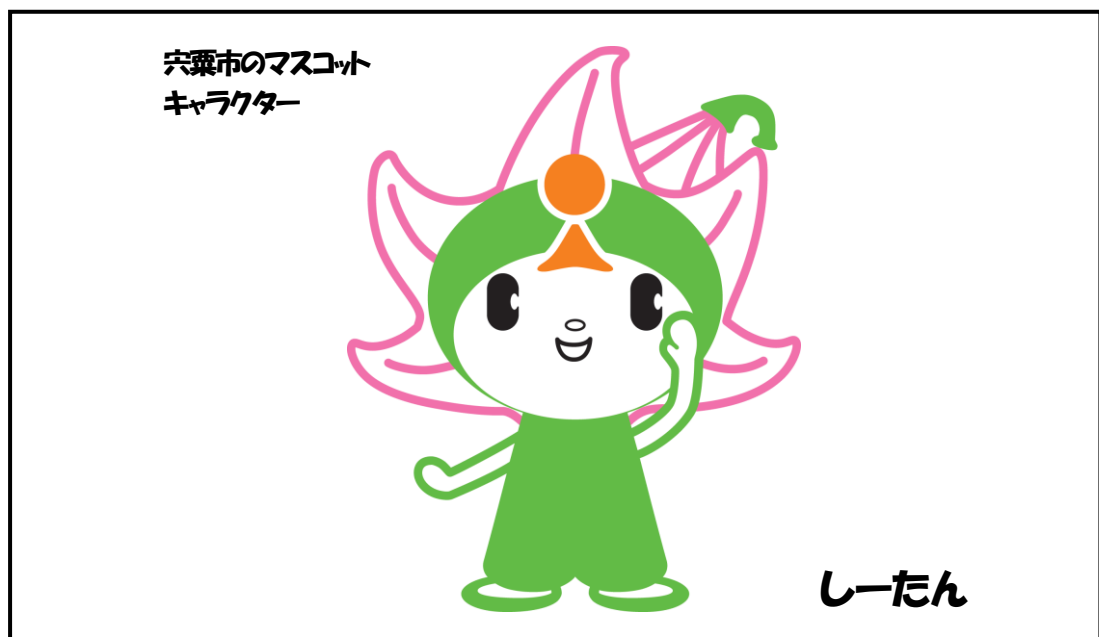
工事看板 参考図

【看板①】



※間伐材 (杉・檜・松)

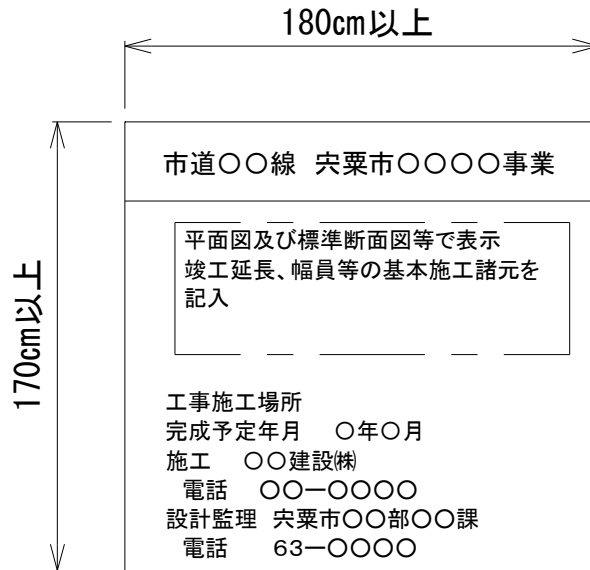
(例)



※図柄と文字のバランスは、上図を参考とする。
※下地は、白色とする。

【看板②】

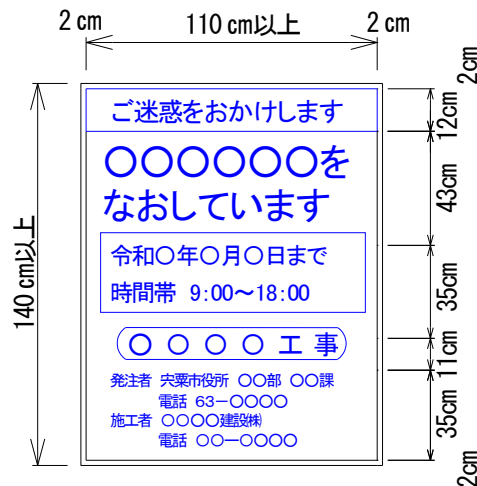
＜工事標示板を明記する工事看板例＞



(注) (1) 看板設置箇所を決定し、平面図の方向が現場の方向と合うよう調整する。

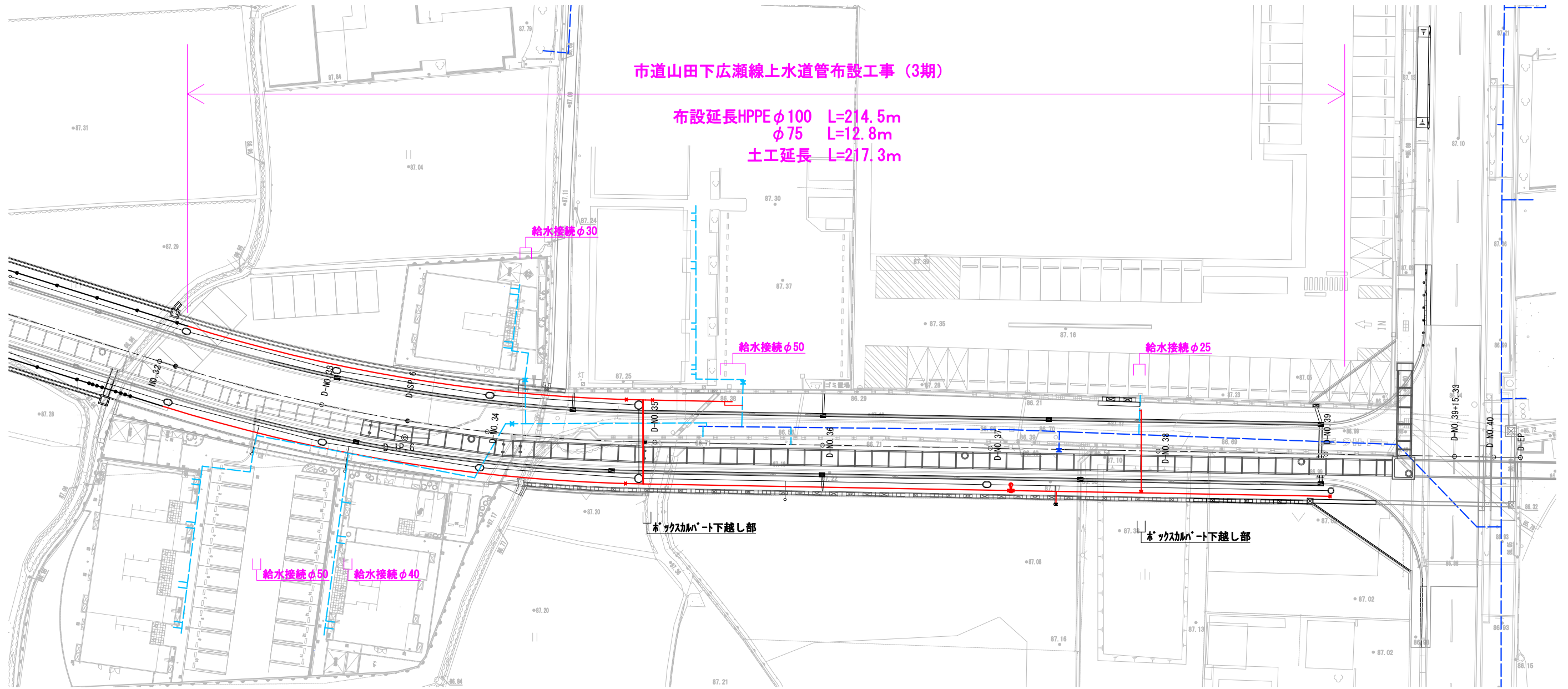
【看板③】

＜工事標示板を明記する工事看板例＞



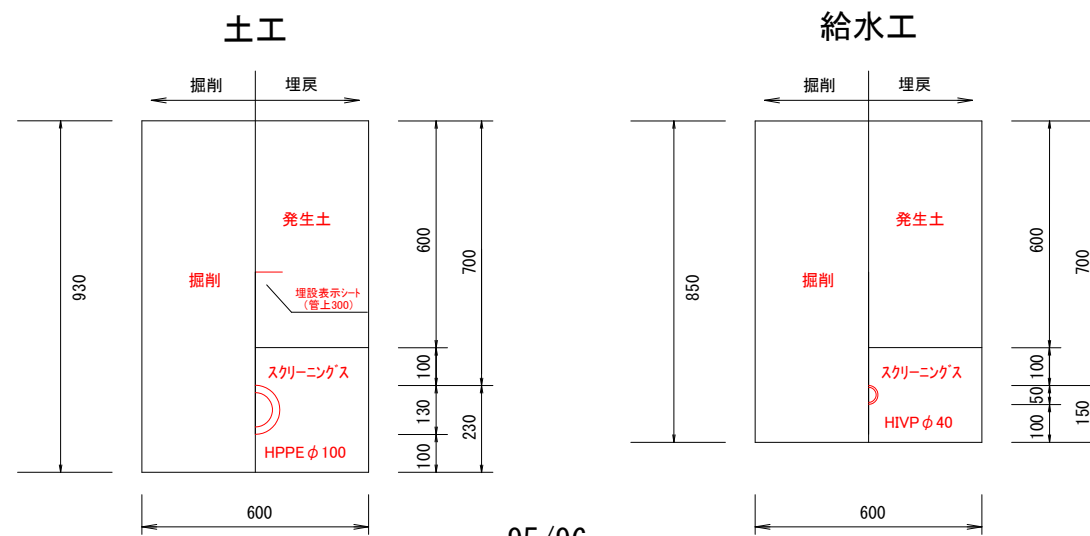
- (注) (1) 色彩は、「ご迷惑をおかけします」等の挨拶文、「舗裝修繕工事」等の工事種別については青地に白抜き文字とし、「〇〇〇〇をなおしています」等の工事内容、工事期間については青色文字、その他の文字及び線は黒色、地を白色とする。
- (2) 緑の余白は 2cm、緑線の太さは 1cm、区画線の太さは 0.5cm とする。

平面図 S=1 : 500



土工断面図 S=1 : 20

※ボックスカバー下越し部の土工については、下水道工事、道路改良工事にて計上



【上水道工事】

令和5年度 市道山田下広瀬線上水道管布設工事(3期)	
山田下広瀬線	
中央市山崎町下広瀬地内	
平面図、土工断面図	1 業全
縮尺 S = 図示	2
中央市	

